

久布白落實 おちしや 廢娼運動家。明治十五年十二月十六日熊本縣鹿本郡米之嶽村生れ、昭和四十七年十月二十三日歿（八八二一九七二）。舊姓大久保。筆名おちみ、久布白オチミ、N・O・K等。明治三十六年女子學院高等部全科卒。翌年両親と共にアメリカに渡り、太平洋神學校豫科に入学。四十二年牧師久布白直勝と結婚、夫の傳道活動を助ける。歸國後の大正五年日本基督教婦人矯風會に入り、廢娼運動に従事。十二年市川房枝等と婦人参政權獲得期成同盟會を結成、總務理事となる。昭和二十七年矯風會會頭。

著書に『女は歩く』（昭和三年十一月十五日刊、市民協會出版部）、『新日本の建設と婦人』（昭和六年五月十八日教文館出版所）、『貴女は誰れ？』（昭和七年十一月十五日日林節子刊、大阪・牧口五明書店）、『基督者としての私の社會觀』（合著、昭和八年二月二十七日教文館出版部）、『南北米百五十日の旅』（昭和十年十一月五日日本基督教婦人矯風會）、『FATHER（父）』（昭和十七年十一月二十日教文館）、『編』『矢嶋樗子伝』（久布白オチミ著、昭和二十一年七月十日七十周年記念刊行会、日本基督教婦人矯風會）等。『婦人新報』第八百八十七號臨時増刊（訂正加筆再版、昭和四十八年二月二十日刊）は久布白落實追悼号に、

